

事務事業実績測定調査

R4調書番号 033

事務事業名称	公共下水道計画事務(雨水)										
測定年度	2022(R4)年度			部	経営戦略室			課	上下水道計画課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	○	R3	○	R4	○	R5	
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標		1.災害に対する備えができています								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1958(S33)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	下水道法、都市計画法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	公共下水道計画区域内の市民			
	サブターゲット	公共下水道計画区域内の事業者			
	ターゲットが抱える課題	集中豪雨等による家屋の浸水や道路冠水の被害			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	下水道事業計画(雨水)見直し等の実施により、雨水整備が促進され浸水被害を軽減する。				
事業概要	下水道法・都市計画法に基づく事業認可を取得又は変更するなど、公共下水道計画事務(雨水)により、円滑な下水道整備を行うことで浸水被害の軽減に努める。 また、公共下水道計画事務(雨水)に伴い、必要となる資料作成や関係機関との協議、調整、手続き等を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						公共下水道(雨水)が整備される。				公共下水道計画事務(雨水)に伴う資料作成・協議・調整・手続き等を実施。			
指標設定	指標説明					雨水管渠等を整備した施工延長				計画事務に伴う実施率 【算出式:計画手続き完了件数/計画手続きが必要な件数×100】			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
						単位	m			単位	%		
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					1,120	360	350	350	100	100	100	100
達成度					11%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.90
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	11,963	10,214	14,843		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	11,963	10,214	14,843		
	物件費計	19,235	3,080	5,495	10,010	54.9%
	歳出計	31,198	13,294	20,338		
歳入	国庫支出金	976	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計（物件費に充当される特定財源）	976	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	18,259	3,080	5,495	10,010	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>浸水被害軽減に向けた雨水管渠の整備や、下水道浸水被害軽減総合事業に基づく雨水貯留管の整備を進めた。</p> <p>アウトプット指標である雨水管渠等を整備した延長については、令和4年度に整備を進めた雨水貯留管の完成が令和5年度となったため、目標値を下回った。</p> <p>また、各事業の実施に必要な関係機関との協議・調整・手続き等を実施した。</p>
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	<p>楠葉地区で実施している下水道浸水被害軽減総合事業における雨水貯留管整備事業については、令和5年度中の完成に向け取り組む。また、各事業の実施に必要な関係機関との協議・調整・手続き等を実施する。</p>

事務事業実績測定調書

R4調書番号 034

事務事業名称	深谷ポンプ場・下水路維持管理負担金交付事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	経営戦略室			課	上下水道計画課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標		1.災害に対する備えができていくまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的的事业
事業期間	不明	年度	~		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	深谷ポンプ場・下水路を使用している地域の市民			
	サブターゲット	深谷ポンプ場・下水路を使用している地域の事業者			
	ターゲットが抱える課題	深谷ポンプ場・下水路の効率的な維持管理が円滑に行われている必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	深谷ポンプ場・下水路の効率的な維持管理が円滑に行われている状態。				
事業概要	本市と寝屋川市が共有している深谷ポンプ場・下水路の効率的な維持管理を円滑に行うため、寝屋川市に委託する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						深谷ポンプ場・下水路の効率的な維持管理が行われる。				深谷ポンプ場・下水路維持管理負担金を交付する。			
指標設定	指標説明					予算執行状況 (目標数値: 当初予算査定額、実績数値: 予算執行額)				当初予算確保率 【算出式: 当初予算査定額/寝屋川市からの通知額×100】			
	指標種類					単位	千円	単位	%				
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					20,088	20,088	20,088	20,088	100	100	100	100
	実績					15,569	5,601	3,632		100	100	100	
達成度						18%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.07
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	638	629	547		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	638	629	547		
	物件費計	15,569	5,601	3,632	4,616	78.7%
	歳出計	16,207	6,230	4,179		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	15,569	5,601	3,632	4,616	

5. 総括的分析

総括的分析	R2当初予算査定額を各年度の目標としているため、達成度は低いものの適正な予算執行により、効率的な維持管理が行われた。本市と寝屋川市が共有している深谷ポンプ場・下水路の維持管理に必要な負担金の交付事務を適正に行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も深谷ポンプ場・下水路の良好な維持管理を行うため、寝屋川市と協力していく。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 037

事務事業名称	淀川左岸用水管理施設維持管理負担金交付事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	経営戦略室			課	上下水道計画課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標		1.災害に対する備えができていくまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的的事业
事業期間	不明	年度	~		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	淀川左岸用水管理施設を使用している地域の市民			
	サブターゲット	淀川左岸用水管理施設を使用している地域の事業者			
	ターゲットが抱える課題	淀川左岸用水管理施設の維持管理が円滑に行われている必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	淀川左岸用水管理施設の維持管理が円滑に行われている状態。				
事業概要	本市、守口市、寝屋川市、門真市で共有している木屋揚水機場、幹線水路、二十箇水路及び附帯施設の維持管理を円滑に行うため、寝屋川市に維持管理業務を委託する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						淀川左岸用水管理施設の維持管理が円滑に行われる。				淀川左岸用水管理施設維持管理負担金を交付する。				
指標設定	指標説明					予算執行状況 (目標数値: 当初予算査定額、実績数値: 予算執行額)				当初予算確保率 【算出式: 当初予算査定額/寝屋川市からの通知額×100】				
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績					10,699	10,699	10,699	10,699	100	100	100	100
	達成度					106%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.07
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	638	629	547		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	638	629	547		
	物件費計	9,722	9,697	11,331	11,892	95.3%
	歳出計	10,360	10,326	11,878		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	9,722	9,697	11,331	11,892	

5. 総括的分析

総括的分析	R2当初予算査定額を各年度の目標としており、適正な予算執行により、維持管理が円滑に行われた。本市、守口市、寝屋川市、門真市で共有している淀川左岸用水管理施設の維持管理に必要な負担金の交付事務を適正に行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も、淀川左岸用水管理施設の良好な維持管理を行うため、寝屋川市と協力していく。

事務事業実績測定調査

R4調書番号 642

事務事業名称	水道計画事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	経営戦略室			課	上下水道計画課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	○	R3	○	R4	○	R5	
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標		26.安全で良好な生活環境が確保されたまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2016(H28)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	水道法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	水道を利用している市民			
	サブターゲット	水道を利用している事業者			
	ターゲットが抱える課題	安全で良質な水が将来にわたって安定的に供給される必要がある。 災害に対する備えができていない必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	安全で良質な水が将来にわたって安定的に供給されている状態。 災害に対する備えができていない状態。				
事業概要	増大する老朽化施設の更新需要及び発生が予想される大地震等への対応のために策定した「枚方市水道施設整備基本計画」(平成30年度)の進捗管理及び見直しの検討。 進捗管理及び見直しの検討のための関係課との協議・調整。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			増大する老朽化施設の更新需要、発生が予想される大地震等への対応のための水道施設の更新・耐震化の推進が図られる。				「枚方市水道施設整備基本計画」に基づく、事業実施の進捗管理及び見直し検討のための関係課会議を開催する。			
指標設定	指標説明		水道施設の更新・耐震化事業の進捗率 【算出式:着手事業項目数/計画事業項目数×100】				関係課会議の開催			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		100	100	100	100	3	3	3	3
	実績		100	75	80		2	3	9	
達成度		80%				300%				
ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			増大する老朽化施設の更新、発生が予想される大地震等への対応のための水道管路の更新・耐震化の推進が図られる。				「枚方市水道施設整備基本計画」に基づく、事業実施の進捗管理及び見直し検討のための関係課会議を開催する。			
指標設定②	指標説明		水道管路の更新・耐震化事業の進捗率 【算出式:着手事業項目数/計画事業項目数×100】				関係課会議の開催			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		100	100	100	100	3	3	3	3
	実績		77.80	87.90	76.20		2	7	9	
達成度		76%				300%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	2.80
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	22,330	21,607	21,874		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	22,330	21,607	21,874		
物件費計	0	0	0	0		
歳出計	22,330	21,607	21,874			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	次年度の当初予算及び令和5年度の計画見直し検討のため、関係課との協議を対面やデータのやり取りなどで適宜実施し、進捗管理を行った。水道施設、管路の更新・耐震化事業の進捗が予定に達しなかったが、他事業との調整に時間を要したため延期となった事業について、今後、計画見直しの際に反映させていく必要がある。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	「水道ビジョン2022」および「枚方市水道施設整備基本計画」に基づく事業実施の進捗管理を行い、令和5年度の計画見直しを検討していく。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 660

事務事業名称	公共下水道計画事務(汚水)										
測定年度	2022(R4)年度			部	経営戦略室			課	上下水道計画課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	○	R3	○	R4	○	R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1958(S33)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	下水道法、都市計画法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	公共下水道計画区域内の市民			
	サブターゲット	公共下水道計画区域内の事業者			
	ターゲットが抱える課題	公共下水道の整備が促進され、生活排水等が適正に処理されている必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	下水道事業計画(汚水)見直し等の実施により、公共下水道の整備が促進され、生活排水等が適正に処理されている状態。				
事業概要	下水道法・都市計画法に基づく事業認可等の取得又は変更するなど、公共下水道計画事務(汚水)により、円滑な下水道整備を行うことで公共水域の水質の保全に資する。 また、公共下水道計画事務(汚水)に伴い、必要となる資料作成や関係機関との協議、調整、手続き等を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						公共下水道(汚水)が整備される。				公共下水道計画事務(汚水)に伴う資料作成・協議・調整・手続き等を実施。			
指標設定	指標説明					公共下水道整備普及率 【算出式:下水道整備人口/行政人口】				計画事務に伴う実施率 【算出式:計画手続き完了件数/計画手続きが必要な件数】			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					単位	%			単位	%		
	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					97.10	97.20	97.20	97.30	100	100	100	100
達成度					100%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.90
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	12,361	11,786	14,843		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	12,361	11,786	14,843		
	物件費計	17,981	0	2,195	5,010	43.8%
	歳出計	30,342	11,786	17,038		
歳入	国庫支出金	3,324	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人員配置については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	3,324	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	14,657	0	2,195	5,010	

5. 総括的分析

総括的分析	生活環境の改善や河川の水質保全のための公共下水道整備の完了に向けて、下水道(汚水)整備を推進し、令和4年度末で整備人口普及率が97.6%となった。また、事業の実施に必要な関係機関との協議・調整・手続き等を実施した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	「枚方市下水道ビジョン2022」及び「枚方市下水道整備基本計画」に基づき整備を進める。また、各事業の実施に必要な関係機関との協議・調整・手続き等を実施する。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 662

事務事業名称	流域下水道負担金交付事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	経営戦略室			課	上下水道計画課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的的事业
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	下水道を利用している市民			
	サブターゲット	下水道を利用している事業者			
	ターゲットが抱える課題	生活排水等が適正に処理されている必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	生活排水等が適正に処理されている状態。				
事業概要	流域下水道事業者である大阪府に対して、構成市として流域下水道にかかる建設費・維持管理費を負担し、円滑な事業運営に資する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						生活排水等が適正に処理されている。				流域下水道負担金を交付する。			
指標設定	指標説明					予算執行状況 (目標数値:当初予算査定額、実績数値:予算執行額)				当初予算確保率 【算出式:当初予算査定額/大阪府からの通知額×100】			
	指標種類					単位	千円	単位	%				
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					2,079,199	2,079,199	2,079,199	2,079,199	100	100	100	100
	実績					1,918,728	2,072,646	2,057,696		100	100	100	
達成度					99%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.15
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,436	1,179	1,172		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,436	1,179	1,172		
	物件費計	1,918,728	2,072,646	2,057,696	2,166,366	95.0%
	歳出計	1,920,164	2,073,825	2,058,868		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人員配置については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	137,400	132,700	146,400	186,000	
	その他	173,211	145,387	140,511	60,010	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	310,611	278,087	286,911	246,010	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	1,608,117	1,794,559	1,770,785	1,920,356	

5. 総括的分析

総括的分析	R2当初予算査定額を各年度の目標としており、適正な予算執行により、流域下水道にかかる建設費及び維持管理費を負担することによって、生活排水等が適正に処理された。大阪府流域下水道施設に必要な建設費・維持管理費の負担金交付事務を適正に行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も、流域下水道の良好な維持管理を行うため、大阪府と協力していく。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 774

事務事業名称	上下水道局経営評価関係事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	経営戦略室			課	上下水道計画課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2007(H19)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市水道事業及び下水道事業に関する条例 等				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	上下水道事業の提供を受ける市民・事業者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	経営の安定化・健全化に向けた取り組みにより、上下水道事業が継続的に進められていく必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	上下水道局の経営の安定化・健全化が図られ、市民・事業者等に対し、水道・下水道事業を継続的に提供できている状態。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 経営計画等に基づく施策の推進、進捗管理 上下水道事業の事業効果の点検、経営評価の実施 上下水道事業経営審議会運営事務 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
			上下水道局の経営の安定化・健全化が図られる。				各施策目標に対する進捗・達成状況の確認						
指標設定	指標説明	全施策目標中、計画通りに目標に向けて取り組みが進められている割合 【算出式:計画通りに目標に向けて取り組みを進めている施策数/全施策数×100】				経営評価(上下水道局で行う内部評価及び上下水道事業経営審議会で行う外部評価)の実施回数							
	指標種類					単位	%	単位	回				
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100	100	100	100	1	1	1	1
	実績					89	85	86		1	1	1	
達成度					86%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.77
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	9.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	11,165	10,607	6,015		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	143	143	162		
	人件費計	11,308	10,750	6,177		
	物件費計	0	3	3	12	25.0%
	歳出計	11,308	10,753	6,180		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	3	3	12	

5. 総括的分析

総括的分析	工事等の事業進捗の遅れや、遊休施設等の有効活用が図れなかったことなどから、達成度が86%となった。経営審議会では令和4年3月に策定した「枚方市水道ビジョン2022」及び「枚方市下水道ビジョン2022」により、新しい施策評価の方法を検討した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	新しい施策評価の方法により令和5年度以降の評価事務を実施していく。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 888

事務事業名称	上下水道計画課運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	経営戦略室			課	上下水道計画課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	R3年度(2021年度)		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	上下水道計画課職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営が円滑に行われている				
事業概要	課の運営業務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	2.34
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.59
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	—	29,149	18,280		
	会計年度任用職員	—	0	1,379		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	—	29,149	19,659		
	物件費計	—	682	1,395	2,114	66.0%
	歳出計	—	29,831	21,054		
歳入	国庫支出金	—	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	—	0	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	0	22,757	24,895	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	—	0	22,757	24,895	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	—	682	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	各課との連絡調整や事務の進行管理、公用車の維持管理などを適正に遂行した。
-------	--------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、円滑な事務執行に努めていく。